

## 第6学年1組 外国語学習指導案

令和3年2月2日（火）第5校時

活動場所 4階 国際理解ルーム

児童数 男子9名 女子15名 計24名

授業者 齋藤 大晃

A L T Dianne

1 単元名 My Best Memory 小学校生活の思い出

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、新学習指導要領の目標（3）話すこと[やり取り]イ，（4）話すこと[発表]イ，（5）書くことイに関わる学習である。今まで学習した英文や単語を使って、「小学校の生活や思い出」について今までの学校生活について言い表したり、尋ねたりすることが中心の活動となる。今年度はコロナ禍で例年通りに行えなかった行事もあるが、これまでの小学校生活の学校行事や活動に触れ、6年間の小学校生活に思いを馳せる活動とする。さらに、この時期は卒業文集の作成も進み、小学校生活のまとめに向かっていく時期である。小学校生活を振り返りながら思い出を表現しようとする目的意識を持って活動できる単元である。また、これまで慣れ親しんだ英単語や表現を駆使しながら、相手に思い出を尋ねたり伝えたりすることで互いの思いに共感することができ、コミュニケーションをとる喜びを味わうことができる単元でもある。

(2) 児童について

本学級の児童は、伝えたいことを英語で表現したいと考えている児童が多い。しかし、新しい単語や聞き慣れていない単語が出てくるとき、また、間違いたくないという意識が強く、自分の言おうとしている英語が正しいのか不安を感じるときに抵抗感を感じ、声が小さくなったり、自ら声に出せなかったりする。そこで、間違いを否定せず「教師からの切り返しで耳を慣れさせていく授業づくり」を進めると共に、簡単にイメージしやすい英語を使って児童に接したり、個別に支援をしたりしている。また、Chantを利用してリズムに乗せて繰り返し英語に慣れることを行っている。児童が抵抗感をなくし、主体的にコミュニケーションをとれるよう、目的意識を持ちつつ楽しく活動に取り組めるようにしたい。

(3) 指導について

単元の前半では主に修学旅行に焦点を当てて We went to～、We saw～、I ate～、I enjoyed～などの表現を用いて、疑似的な言語活動を重ね、徐々にペアワークなどの言語活動を進め、表現に慣れ親しむ。児童の実態に応じて、週末のこと、冬休みのことなど、話題を変えて繰り返しやりとりを行う。

表現に慣れてきた後半では、前半で身に着けた表現を用いて、小学校生活で一番の思い出についての言語活動を行う。児童が実際に活動している写真を一緒に見ていき、思い出を引き出す。実際の写真を使用することで、本単元を身近に感じられるようにすると共に、「自分の一番の思い出を英語で表現する」という主体性と目的意識をもつことができるようにする。また、学校行事に関する新出の単語は、児童の聞き慣れない語が多いため、毎時間ごとの疑似的な言語活動(練習)を通して、学校行事についての英語に十分触れさせるようにする。

単元の終末では、本単元で学習する表現だけでなく既習の表現を交えながら、雑談に近い形で言語活動を行う場面を設定し、「生きて働く知識・技能」で、より自然なやりとりができるようにしていく。

1単位時間で扱う新出表現は1つのみ焦点化することで、児童が十分に慣れ親しみながら表現できるようにする。また、互いの共感を得やすい学習内容であるため、相槌の打ち方を活用できるようにし、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を育成することができると思う。

### 3 研究主題との関連

【研究テーマ】

生きて働く知識・技能を身に付けさせる外国語の授業づくり  
～自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成～

研究仮説1

学習過程を統一した授業を実現すれば、児童は安心して取り組み、進んでコミュニケーションを図るであろう。

研究仮説2

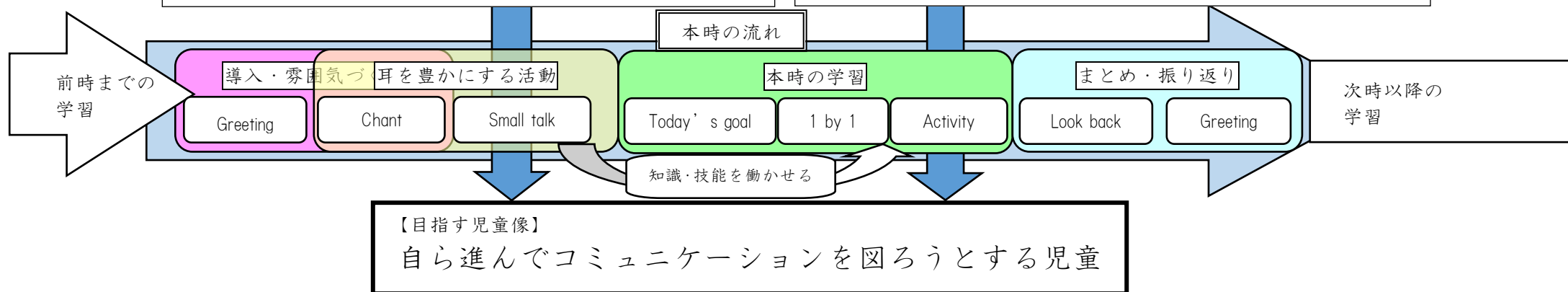
目的・場所・状況を設定した生活に即した対話的な活動(アクティビティ)を取り入れれば、児童は進んでコミュニケーションを図るであろう。

手立て1

表現を繰り返し使用することで、児童が「知っている」「言うことができる」と、安心して活動できるようにする。

手立て2

雑談的なやりとりを行う場面を設定し、児童に目的意識を持たせ、必要感を抱かせる。



#### 4 単元のねらいと評価規準

- ・小学校生活の思い出などについて、短い話を聞いてその概要を理解できる。自分の考えや気持ちを伝えることができる。例文を参考に読んだり書いたりすることができる。〈知識及び技能〉
- ・短い話を聞いてその概要を捉えている。お互いの考えや気持ちを伝え合うことができる。例文を参考に、自分の事を伝える文を書くことができる。〈思考力・判断力・表現力等〉
- ・短い話を聞いてその概要を捉えたり、お互いの考えや気持ちを伝え合ったりしようとしている。例文を参考に読んだり書いたりしようとしている。〈学びに向かう力、人間性等〉

	聞くこと(聞)	読むこと(読)	話すこと[やり取り](や)	話すこと[発表](発)	書くこと(書)
知識・技能	<p>〈知識〉</p> <p>My best memory is..., We went..., We saw..., I enjoyed..., およびその関連語句などについて、理解している。</p> <p>〈技能〉</p> <p>小学校生活の思い出などについて聞き取る技能を身に付けている。</p>			<p>〈知識〉(同左)</p> <p>関連語句などについて理解している。</p> <p>〈技能〉(同左)</p> <p>関連語句を用いて自分の考えや気持ちを伝える技能を身に付けている。</p>	
思考・判断・表現		自分の事を伝え、書かれた簡単な語句や基本的な表現の意味が分かり、声に出して読んでいる。	自分の事を伝え、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ち等を伝え合っている。	自分の事を伝え、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ち等を伝えている。	
主体的に学習に取り組む態度	相手の事をよく知るために、小学校生活の思い出などについて、短い話の概要を捉えようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深めるために、外国について、短い話の概要を捉えようとしている。		自分の事を伝え、書かれた単語や簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ち等を伝え合おうとしている。		自分の事を伝えるために、例文を参考に書こうとしている。

5 単元の計画（本時5 / 8時）

時	◆目標・○活動	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	◎評価規準<評価方法>
1	◆日本や世界の子供たちの小学生活事についての話を聞いて内容が分かる。				
	○学校行事を表す単語を使った Activity ○月, 季節を表す単語を使った Activity			聞	◎学校行事を表す言い方を知り、AET に続いて発音しようとしている。 < 行動観察、振り返りカード >
2	◆学校行事についての話を聞いて内容が分かり、感想を伝え合う。				
	○「We enjoyed ～.」「It was ～.」「How about you?」AET との1by1		聞		◎学校行事について聞き取り、理解している。 < 行動観察、振り返りカード >
3	◆修学旅行についての話を聞いて内容を理解し、感想などを伝え合う。				
	○「We enjoyed ～.」「It was ～.」を使った Activity ○AET との1by1、児童同士のやりとりをする。		や		◎感想を含めて伝え合っている。 < 行動観察、振り返りカード >
4	◆学校行事についての感想などを伝え合い、例文を参考にやりとりした英語を書き写す。				
	○「We enjoyed ～.」「It was ～.」を使って AET との1by1、児童同士のやりとりをする。 ○やりとりした文をワークシートに書く。			書	◎伝え合ったことを書こうとしている。 < 行動観察、振り返りカード >
5	◆思い出に残る学校行事とその理由を理解したり、思い出の行事について尋ねたり、答えたりできる。				
	○「What is your best memory?」「My best memory is ～.」「How about you?」を主として、既習表現を用いて雑談に近いやりとりをする。			や	◎好きな行事について尋ねたり答えたりしようとしている。 < 行動観察、振り返りカード >
6	◆小学校6年間の生活で1番心に残っている思い出について、理由を含めて他者に配慮しながら伝えようとする。				
	○「What is your best memory?」「My best memory is ～.」「We enjoyed ～.」「It was ～.」を使った児童同士の Activity を行う。 ○前に出て、発表をする。	発	発		◎人に伝えるという目的をもって自分の思い出について話している。 < 行動観察、振り返りカード >
7	◆小学校の思い出について、今まで書き写した英語を読んだり、推測して読んだりする。				
	○自分が書いた英文を読む。 ○学校行事を表す表現を含む英文を読む。			読	◎慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれている思い出に関する文を読んでいる。< 行動観察、振り返りカード >
8	◆世界の学校生活について考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。				
	○動画を見て、世界の学校生活について考え、日本との違いを知る。			聞	◎海外の国について短い話の概要を捉えようとしている。 < 行動観察、振り返りカード >

6 本時の学習指導

(1) ねらい

思い出に残る学校行事とその理由を理解したり、思い出の行事について尋ねたり、答えたりできる。

(2) 展開 (5 / 8 時)

時間	児童の活動	教師の活動	A L T の活動	指導上の留意点【評価規準】
3分	<p>【Greeting】</p> <p>Stand up, please. Hello, Mr.Saito. Hello, Ms.Dianne. I'm ( ),thank you. And you? It's ( ).</p> <p>【Sing】【Chant】</p>	<p>Let's start. Hello, everyone.</p>	<p>Hello, everyone. How are you today?  I'm ( ),thank you. How is the weather today? What day is it today? What's the date today?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔で和やかな雰囲気を作る。</li> <li>・教師も英語中心に話をし、外国語学習の雰囲気をつくる。</li> <li>・全児童に対して、1対1(教師対児童)で会話をを行い、今日の体調について全員に受け答えさせる。</li> </ul>
2分	<p>字幕を見ながら一緒に歌う。</p>	<p>Let's Sing. Let's Chants.</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌えるところを一緒に歌うよう促す。</li> </ul>
5分	<p>【Small Talk①】</p> <p>先週末の出来事についてやりとりをする。</p>	<p>What did you do last weekend? Where did you go? What did you eat?</p>	<p>What did you do last weekend?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つのグループに分かれて、教師と児童とで、既習の表現を使ってやりとりをする。</li> <li>・一人一回は発言できるようにする。</li> </ul>
<p>I went to ～. I enjoyed ～. I saw ～. It was ～. How about you ～?など既習表現を使用する。</p>				
4分	<p>【Small Talk②】</p> <p>小学校の思い出について</p>	<p>Hello. Ms.Dianne. (卒業アルバムを見ている。) This is elementary school graduation album. Of course.  My best memory is School trip. I went to . We went to Nikko. I saw Kegon no taki. It was fantastic. I enjoyed talking with my friends in the room at night. How about you? What is your best memory?  Sounds nice.</p>	<p>Hello. Mr.Saito. What are you looking at?  Oh, It sounds nice. Please show me. What is your best memory?  My best memory is field trip. Look. We went to art museum. This is me. These are my friends. I enjoyed drawing.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デモンストレーションで相槌を言葉やジェスチャーを用いながら話し、児童が内容を想像できるようにする。</li> </ul>

	<p>【Today's goal】 本時の目標を確認する。</p>	<p>How about you? What is your best memory? (何人かの児童に尋ね、答えさせる。)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">6年間で一番心に残っている学校行事を伝え合おう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にも投げかけ、本時の学習内容に導くようにする。</li> <li>・Small Talk②での話した内容を yes/no クイズの形式で質問する中で「My best memory is～」の表現に注目させる。</li> </ul>
15分	<p>【1 by 1】 AETと1対1でやりとりを行う。</p>	<p>Let's try 1 by 1. Please speak in a Clear voice. もう一度言ってほしい時は? S: 「One more please.」 分からない時は? S: 「Sorry, I don't know.」 OK, Please, Ms. Dianne.</p>	<p><b>1 周目</b> AET: My best memory is□. How about you? S: My best memory is□. <b>2 周目</b> AET: What is your best memory? S: My best memory is□. AET: What did you see? / What did you eat? / What did you do? / Where did you go? / How was it? / Was it fun?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AET と1対1で疑似的な言語活動を行い、表現に慣れさせる。</li> <li>・2周目にはAETが追加の質問をし、それに応じて児童が考えながら答える場面を設定し、次のペアワークの練習となるようにする。</li> </ul>
10分	<p>【Activities】 思い出の行事について聞いたり伝えたりする。 ①2分間やりとりをする。 ②1分間ふり返りをする。 ③反省を踏まえ、ペアを変えて再度やりとりする。</p>	<p>今まで使ってきた表現を使いましょう。「Sounds good.」「That's cool.」と相槌を打ったり「How about you?」と投げかけたりしてもいいですね。 (2分後、ふりかえり)これが言えなかった、というものはありますか? (児童の言葉を受け) Please, Ms. Dianne.</p>	<p>(机間指導をし、会話が止まっている児童に助言する。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本單元だけでなく既習の表現、相槌の表現を使って会話を続けさせる。</li> <li>・「2分やりとり→1分ふり返り(言えなかった表現を確認)」を4セット行う。</li> <li>・隣の人→前後の人→席を立ち回って声をかける人(1.3.5号車)と座っている人(2.4.6号車)、段階的に範囲を広げる。</li> </ul>
5分	<p>【Look-back】 本時の振り返りをする。 感想を発表する。</p>	<p>Open your look-back card. Write today's comment.</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のめあてが達成できたか自己評価させる。</li> <li>・本時のめあてに沿って活動できたことを称賛する。</li> <li>・よいやりとりをしていたペアを称賛し、価値づける。</li> </ul>
1分	<p>【Greeting】 Thank you, Mr.Saito. See you, Ms.Dianne. Thank you.</p>	<p>That's all for today. Thank you everyone.</p>	<p>Thank you. See you, good bye.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔であいさつし、明るい雰囲気で行われるようにする。</li> </ul>

